

定 例 会 議 会 議 録

開 催 日 時	令和7年4月9日（水）午前10時00分 ～ 午前11時50分	
開 催 場 所	特別会議室、公安委員会室	
区 分	『 全 体 会 議 』 議 題 ・ 要 旨	主 管 部
【 報 告 事 項 】	1 令和7年度入校学生等の概要について 今年度は初任科学生を含む全41課程合計684人の入校を予定しているが、本年4月1日付けで、初任科第105期として警察官110人（短期課程53人、長期課程57人）、一般職員初任科第40期として一般職員等22人の合計132人が入寮した。 短期課程は大学卒業者で6か月間、長期課程は大学卒業以外で10か月間、一般職員は大学卒業及び大学卒業以外も含め約1か月間の入校期間となっている。昨年と比べて警察官の入校者数は15人多く、また一般職員初任科の入校者数（就職氷河期採用者6人と宮城県情報通信部に勤務する東北管区警察局採用者3人を含む。）は昨年より4人多かった。一般職員初任科については、4月25日（金）に警察学校講堂において修了式を執り行う予定である。 入校式は4月7日（月）の午前10時から警察学校のアリーナ（体育館）にて、入校者家族等約250人が参加し盛大に開催された。 委 員：一般職員の平均年齢が28.8歳と比較的若いですが、就職氷河期世代の方は今回の採用に関しては別枠という理解でよろしいか。 警務部長：試験・採用区分に関しては別枠であるが、初任科の教養は他一般職員と一緒に受けることになる。全体として比較的若い方が多いため、平均年齢としては低くなっており、警察官と比較した場合、大卒（短期課程）であれば平均年齢23.1歳となる。 委 員：他県出身者が31人ということだが、県警に入って宮城に残っていただけるのはとても素晴らしいことである。学校長以下で立派な警察官になれるよう教育していただければと思う。	警 察 学 校

区 分	『 個 別 審 議 等 会 議 』	
【 決 裁 事 項 】	1 苦情の調査結果及び通知案について（6件） 2 人事異動に伴う代理人の変更について 3 訴訟事件の発生に伴う代理人の指定について 4 審査請求の裁決案について 5 道路交通法の規定に基づく意見の聴取等	総 務 課 監 察 課 監 察 課 監 察 課 運 転 免 許 課
【 報 告 事 項 】	1 令和6年中における被疑者取調べ監督の実施状況について 委 員：取調べの視認について、目標回数などはあるのか。 課長補佐：目標値などは設定されておらず、国から示されて	総 務 課

	いるものもない。以前はより多くの視認をするよう指示されていたが、最近は回数にはこだわらず、取調べ官に緊張感をもたせるようなランダムでより効果的な視認をすることという指示が出ており、基本的には一人の被疑者につき一回は視認するようにしている。 委員：違法な取調べはしないという緊張感をもって職務を遂行すること、内部的な抑止力が事前的に機能しているかが人権擁護のためには重要であり、大変な業務ではあると思うが、ぜひ職責の大きさを踏まえて頑張っていただきたい。 課長補佐：承知した。	
2	公安条例許可申請について（令和7年3月分）	警 備 課
3	小型無人機等の飛行に関する通報について（令和7年3月分）	警 備 課